

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公開番号】特開2006-169251(P2006-169251A)

【公開日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2006-025

【出願番号】特願2005-362290(P2005-362290)

【国際特許分類】

C 0 7 C 67/307 (2006.01)

C 0 7 C 69/63 (2006.01)

C 0 7 B 53/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 67/307

C 0 7 C 69/63

C 0 7 B 53/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

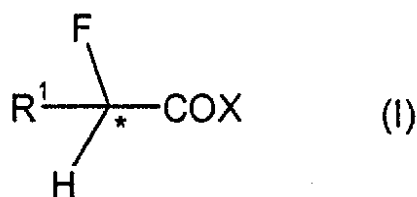
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一般式 (I)

【化 1】



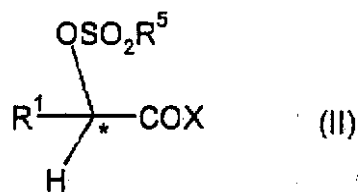
(式中、

R<sup>1</sup> は、場合により置換された C<sub>1</sub> ~ C<sub>18</sub> - アルキル基、場合により置換された C<sub>4</sub> ~ C<sub>24</sub> - アリール基もしくは場合により置換された C<sub>5</sub> ~ C<sub>18</sub> - アリールアルキル基であり、

そして

X は、ハロゲン、-NR<sup>2</sup>R<sup>3</sup> または -OR<sup>4</sup> であり、ここで、R<sup>2</sup>、R<sup>3</sup> および R<sup>4</sup> はそれぞれ独立して H または場合により置換された C<sub>1</sub> ~ C<sub>18</sub> - アルキル基、場合により置換された C<sub>4</sub> ~ C<sub>24</sub> - アリール基もしくは場合により置換された C<sub>5</sub> ~ C<sub>18</sub> - アリールアルキル基であり、または R<sup>2</sup> および R<sup>3</sup> は一緒になって場合により置換された C<sub>1</sub> ~ C<sub>18</sub> - アルキレン基、場合により置換された C<sub>4</sub> ~ C<sub>24</sub> - アリール基もしくは場合により置換された C<sub>5</sub> ~ C<sub>18</sub> - アリールアルキレン基である) の、一方のエナンチオマーを他方より多く含む 2 - フルオロカルボン酸エステルを製造するにあたり、  
一般式 (II)

【化 2】



(式中、

$\text{R}^5$  は、場合により置換された  $\text{C}_1 \sim \text{C}_{18}$  - アルキル基、場合により置換された  $\text{C}_4 \sim \text{C}_{24}$  - アリール基もしくは場合により置換された  $\text{C}_5 \sim \text{C}_{18}$  - アリールアルキル基であり、そして

$\text{R}^1$  および  $\text{X}$  はそれぞれ一般式 (I) について定義されるものである) の、一方のエナ  
ンチオマーを他方より多く含むスルホン酸エステルに、少なくとも 1 のカルボキサミドを  
含む溶媒中で、少なくとも 1 のアルカリ金属フッ化物またはフッ化テトラアルキルアンモ  
ニウムを反応させることにより製造する方法であって、

一般式 (II) のスルホン酸エステルが最初に装入され、そして少なくとも 1 のアルカ  
リ金属フッ化物またはフッ化テトラアルキルアンモニウムと少なくとも 1 のカルボキサミ  
ドとの混合物がその次に加えられることを特徴とする製造方法。